

容器変更のお知らせ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび血中アンモニア専用管に関しまして、安定供給が可能な容器に変更をさせていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
これに伴い、下記検査項目につきまして基準値の再設定を行います。従来容器につきまして、随時当会担当者が回収いたしますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。
先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

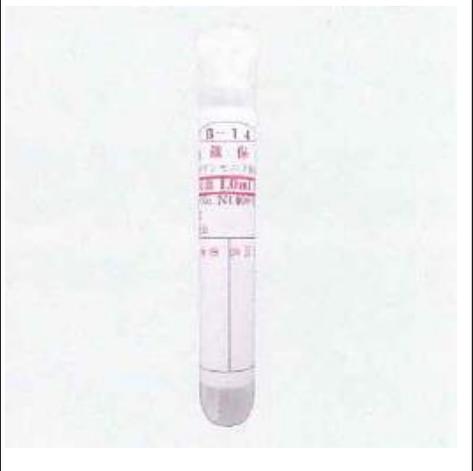
記

▶ アンモニア (NH₃)

変更日:2015年3月27日(金)受付分より

裏面に続きます

▼ アンモニア(NH₃)

	新	従来
容器記号	11	同左
検査材料	除蛋白上清	同左
容器の貯蔵方法	室温	冷蔵
検体必要量	3.0mL アンモニア専用容器(容器番号11)に正確に血液1.0mLを入れ、転倒混和後速やかに遠心分離し、上清3.0mLを汎用スピッツ(容器番号1)に移して密栓凍結保存	同左
検体保存方法	絶対凍結	同左
報告日数	3~4日	同左
基準値	30~86	18~70
報告単位	μg/dL	同左
報告桁数	整数	同左
容器画像		

【採血手順について】

アンモニア検査用の採血は、除蛋白液の体内への逆流を防ぐため、真空採血は実施せず、下記手順にてお願いいたします

- ①注射器にて採血を行う
- ②注射器の針を抜き、専用容器(容器番号11)へ血液を1mL正確に注入し、キャップをしっかり閉める
- ③よく転倒混和したのち速やかに遠心分離し、上清3mLを汎用スピッツ(容器番号1)に移し、凍結保存する

*遠心分離できない場合は血液を1mL正確に注入し、よく転倒混和した後に、専用容器(容器番号11)を冷蔵または氷冷で保存するこの場合は、速やかに当日内にご提出ください